

今ががんばりどき



立石 由美

7月15日、長岡を本会場に県内全域のサテライト会場を皮切りに、8月10日出雲崎まで県内7か所で、「柏崎・刈羽原子力発電所に係る国の取組みに関する県民説明会」（以下説明会と略す）が開催されました。主催は新潟県。

私は1回目のサテライト会場の新潟に出席しました。まず、「国」ですが、原子力規制庁、内閣府、資源エネルギー庁の3者です。ここで「はて？」と思われるかもしれません。「規制する」側と「規制される」側がいっしょにやってきて説明するのです。

まあ、それは置いておくことにして、限られた時間のなかで一瀉千里、早口で十分考える間もない説明でした。そして1人1回1分という質問時間。それでも

当てられなくて、残念な思いをしました。

資料をよく見ると、規制庁と内閣府が同じ絵を使っていたり、資源エネルギー庁の資料に明らかな誤りがあっていたりして、いくつもの「はてな」が積みまされた。資源エネルギー庁の資料に原発を持たない国の中にデンマーク、アイスランドが入っていないのを指摘したら、「ああそうでしたね」という返事で、即刻直されるだろうと思つて、燕の会場に出席しました。ところが直っていません。なんでも資料は「みんな」で作るので直せないというのです。私のほかにも、誤りを指摘した人がいましたが、同じ対応です。

そもそも中立公平であるべき規制庁と内閣府が同じ絵をつかうなど、私は規制庁の立場におおいに疑問を

感じ、会場で渡された質問用紙に書きました。それは県のHPで答えるというので待っています。

燕の会場は55人定員で満員。訴えも含めて多くの挙手がありました。

聞きたいことが山ほどあったので、最終の出雲崎にもでかけました。出た会場は、判で押したように同じ話（プレゼン）でした。

この説明会の様子は県の原子力安全課のHPに資料も動画も配信されています。

この説明会を通じて、岸田政権のエネルギー政策の転換を受け、国はどうあっても、原発の再稼働、新増設を推進するのだということがわかりました。福島原発の見通しがまったく立っていないし、能登半島地震、出雲崎説明会の前日の地震が南海トラフ地震警戒という事態も、どこ吹く風。あいつぐ東電の不祥事。これは東電だけでなく各電力会社全般にわたり運転適格性を疑われています。資源エネルギー庁は、動いてもいない核燃料サイクル、世界中どこにも実現していない地層処分をもとにして原発を推進しようと強弁するのです。9月に訪れた福井県美浜原発のPR館も同じ論理でした。

1月1日の能登半島地震で、ほんの少しだけ津波避難しました。すぐに道路は渋滞、西区は家屋・道路の被害がひどく、だれの目にも原発事故避難は困難と見えました。能登の惨状をみても避難、特に自宅待機ができないことも見えました。（私はすぐに家に帰れましたが福島の人には帰れなかった）

放射性廃棄物、避難など、県民の懸念も意に介さず、再エネルギー利用はいちやもんばかりつけて本気に取り組もうとしない姿勢。福島事故はなかったかのような視点。まさにごり押しとしか言いようがない。それこそ本気で怒りがわいてきました。

こんないい加減な論理で「本気の推進」にたちむかうのはどうすればいいでしょうか。

大小様々な集会、スタンディングなどで目に物を見せる。

申し入れなどで意志を伝える。

選挙で原発反対の議員をふやす。

今、取り組まれている「柏崎・刈羽原発の再稼働の是非を問う県民投票条例の直接請求署名」を成功させること

私はこれでないかと思っています。

大きな集会は、9月29日、「なくそテ原発柏崎大集會」が900人で成功しました。

選挙はどうだったでしょうか。県内の当選した候補者は一応、反対を標榜されました。ぶれないように「育てる」のは私たちの役目です。

そして、今スタートをきった直接請求。

請求代表者はあつというまに1000人をこえ、各地で相談会、PR行動がすすみ、受任者がどんどんふえています。私がいめる、自分の住む町。

一度しかない人の生を子々孫々まで守る運動と思います。

本気でがんばります。全国のみなさん、研究所に集うみなさんも知恵と力を貸してください。

(たていし よしみ・新潟市)



小学生がクラウドファンディング！

知人が、孫が通う小学校で行われている6年生の総合学習のプリントを見せてくれた。

それによると、亀田の魅力を知ってもらうために、新潟市の会社「愛宕商事」が作成・販売しているカードゲーム「地域王」の亀田版を作製したい。

その作製のために、製作費120万円（地域王の型の製作費とライセンス費用）、印刷費180万円（型から製品として印刷する費用、180万円で500セットが最低限）、クラウドファンディング会社への手数料（集まったお金の17% 150万円集まったら約25万円）の約300万円が必要。そのうち、半額の150万円をクラウドファンディングで集めたいと活動中。（この間の様子は、<https://gatachira.com/local/120379/>で知ることができます。）

休日、資金をあつめるために、アピタ亀田店で説明会を開いたそうです。

子どもたちのカードゲームを作製したいという思いはわかるが、やっていることは、大人の入れ知恵で金儲けのお先棒を担いでいるように思えてなりません。

(和澄)

